

香美町総合戦略の評価・検証について

(令和5年度)

1. 趣旨

P D C A サイクルの4つの視点を政策実行・検証の過程に取り込むことにより、継続的な改善を推進する進捗管理をとり、今後の施策や事業の改善に活用するとともに、外部評価組織による評価を行うことで外部の目を確保しながら、客観的に基本目標や重要業績評価指標の進捗状況の把握を行います。

2. 住民基本台帳による人口動態

基準日：1月1日

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総人口		17,338	16,898	16,452	16,024
前年比増減 (c) + (f) + (i)		△ 503	△ 445	△ 446	△ 428
自然増減	出生者数 (a)	73	61	53	65
	死亡者数 (b)	319	285	286	348
	増減 (c) = (a) - (b)	△ 246	△ 224	△ 233	△ 283
社会増減	転入者数 (d)	287	267	285	317
	転出者数 (e)	538	490	496	458
	増減 (f) = (d) - (e)	△ 251	△ 223	△ 211	△ 141
その他増減	その他増 (g)	6	5	2	3
	その他減 (h)	12	3	4	7
	増減 (i) = (g) - (h)	△ 6	2	△ 2	△ 4

3. 進捗状況等の概要

(1) 各基本目標における数値目標の達成状況

基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人	8人	5人	2人	-	-	-	15人

基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
若い世帯の新たな移住 6年間(2020年度-2025年度の累計)で90世帯	6世帯	10世帯	13世帯	-	-	-	29世帯

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	-
年少人口(0歳~14歳) 2025(R7)年度に1,650人を維持	1,632人	1,559人	1,473人	-	-	-	-

基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
地域コミュニティ組織の確立	1箇所	0箇所	0箇所	-	-	-	1箇所

(2) 各基本目標ごとの重要業績評価指標(KPI)達成状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	達成済	未達成	達成済	未達成	達成済	未達成
基本目標Ⅰ	0項目	8項目	0項目	8項目	0項目	8項目
基本目標Ⅱ	0項目	4項目	0項目	4項目	0項目	4項目
基本目標Ⅲ	0項目	5項目	0項目	5項目	0項目	5項目
基本目標Ⅳ	0項目	2項目	0項目	2項目	0項目	2項目

(3) 各基本目標における成果指標の達成状況

基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	K P I	令和4年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
実質化したプラン	15組織 [R7年度]	5組織	—	33.3%
農地中間管理事業取扱面積	70.0ha [R7年度]	59.10ha	—	84.4%
集落営農組織数	15組織 [R7年度]	11組織	—	73.3%
認定農業者数	45人 [R7年度]	42人	—	93.3%
「ものづくり」6次産業化取扱件数	12件 [6年間の累計]	2件	6件	50.0%
起業・創業支援件数	12件 [6年間の累計]	2件	8件	66.7%
観光客入込数	165.0万人 [R7年度]	97.1万人	—	58.8%
うち宿泊者数	42.6万人 [R7年度]	27.8万人	—	65.3%

基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

数値目標	K P I	令和4年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
人口増減数に対する社会増減数が占める割合	40.00% [R7年度]	33.88%	—	129.1%
空き家利活用件数	84件 [R7年度]	17件	39件	46.4%
U・Iターン就職者数	60人 [R7年度]	0人	0人	0.0%
地域おこし協力隊の定住、起業件数	6人 [6年間の累計]	1人	3人	50.0%

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	K P I	令和4年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
出生数	110人 [R7年度]	60人	—	54.5%
婚姻数	45組 [R7年度]	30組	—	66.7%
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	10事業所 [6年間の累計]	0事業所	0事業所	0.0%
子どものいる世帯のうち、第3子以上を養育する世帯の割合	23.0% [R7年度]	19.10%	—	83.0%
香美町で子育てをしたいと思う親の割合	95.0% [R7年度]	87.30%	—	91.9%

基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	K P I	令和4年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
新しい地域コミュニティ組織数	6箇所 [6年間の累計]	0箇所	1件	16.7%
集落点検・集落計画策定件数	上記モデル地区内の集落	0件	0件	—

4. 令和4年度における各基本目標ごとの事業実施状況及び実績、効果
「令和4年度総合戦略事業評価・検証シート」のとおり。

5. 外部評価組織（香美町総合計画審議会）における評価

（1）外部評価組織における評価内容

	総合評価	
基本目標Ⅰ	B	各取組内容の実績等が数値目標及びKPIの達成に対してある程度効果をあげているものの、全体的な取組状況や成果に不満を感じる。
基本目標Ⅱ	B	
基本目標Ⅲ	C	各取組内容の実績等が数値目標及びKPIの達成に対してあまり効果をあげられていない。次年度における取り組みに期待する。
基本目標Ⅳ	C	

（2）外部評価組織における評価に対する所見等（一部を抜粋）

基本目標Ⅰ 香美町における安定した雇用を創出する

- ・多くの就労の場（農業・漁業・水産業・商工業等）があり、全産業に力をいれることは大切なことで各産業が公的支援を願う中、人材を受け入れるだけのキャパがあるかと言うとあきらかにないと言える。少し目先を考えて、通年ごとでも良いので一産業に特化した取組によって就労の場を作れないものか。
- ・安定した就労の場はあるが、若者は定着しない。魅力あるまちづくりをするべきだと思う。

基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

- ・就労の場がないことには若者たちは地元に戻って来ない。香美町も子供に対する親への支援はよくできている方だと思うが、それ以上でもなくそれ以下でもないという感じの施策しかないかもしれない。U・Iターンに力を入れるのか、現町民が結婚をして子育てに最高のまちづくりをするのか、幅広く浅い施策では何もなさない。
- ・香美町の魅力をマスコミを通じて発信し続けることだと思う。また、イベントを通してPRすることが大事。
- ・多くの施策を講じて取り組んでいるが、目標達成に結びついていない。

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・二世帯で暮らしたり、同居してなくても親が近くに住んでいる人は少々収入が少なくても結婚・出産・子育てがしやすいのかもしれないが、収入の少ない人は結婚すら考えられないのかもしれない。せめて子育てに少しでも力になれる施策を実行していくことが大事だと思う。
- ・若い世代の夫婦が共働きしても安心して子供を預け、香美町から他県・他市町へ通勤できる取組があればよいと思った。
- ・若い世代の結婚が一番大変な課題である。
- ・希望を持つような社会づくりから始めるべき。
- ・順調に目標達成に向かっていくが、事業未実施が見受けられる。
- ・取組はよくできているが、目標達成のためにはさらに充実をさせないといけない。

基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

- ・過疎化、限界集落など、これから先急激な人口減が起こる中、このことは公の立場だけでなく、各地域の人たちが先を見越して行動を起こさないと何も変わらないと思う。
- ・過疎化が進み、単独の区だけでは従来どおりに区の運営ができなくなり、隣接する区と協力していかなければならなくなっている。区長会で検討していく必要がある。
- ・そもそも地域コミュニティのアイデアが醸成されるように情宣活動を強化すべき。
- ・全く目標達成ができていない。今後もできそうにない。取組内容をもっと考え直した方がよい。

【参考資料】香美町の人口動態

1. 人口ビジョンで掲げる人口の将来展望

	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年
将来人口	18,252	17,180	16,148	15,201	14,316	13,540	12,811

2. 国立社会保障人口問題研究所による将来人口推計

	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年
2013年推計人口	18,122	16,689	15,292	13,792	12,721	11,537	10,388
2018年推計人口	18,070	16,412	14,803	13,282	11,813	10,423	9,077

3. 人口ビジョンで掲げる将来展望人口の「2020年から2025年の人口の差」を各年度に按分した場合の各年の推移

	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年
将来人口	17,180	16,974	16,768	16,562	16,356	16,148

4. 国立社会保障人口問題研究所による将来人口推計の「2020年から2025年の人口の差」を各年度に按分した場合の推計人口

	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年
2013年推計人口	16,689	16,410	16,131	15,852	15,573	15,292
2018年推計人口	16,412	16,090	15,768	15,446	15,124	14,803

5. 人口の推移

	2018年 平成30年	2019年 平成31年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	備考
住民基本台帳人口	18,176	17,845	17,338	16,898	16,452	16,024	基準日：1月1日
県推計人口※	16,919	16,515	16,057	15,753	15,311	14,913	基準日：4月1日

※ 国勢調査（H27.10）を基礎とし、毎月県が集計している住民基本台帳法に基づく当該月間の移動数を集計したもの

6. 住民基本台帳による人口動態（外国人含む）（毎年1月1日～12月31日までの異動状況）

基準日	2017.1.1 (H29.1.1)	2018.1.1 (H30.1.1)	2019.1.1 (H31.1.1)	2020.1.1 (R2.1.1)	2021.1.1 (R3.1.1)	2022.1.1 (R4.1.1)	2023.1.1 (R5.1.1)
項目	H28年の動態	H29年の動態	H30年の動態	R1年の動態	R2年の動態	R3年の動態	R4年の動態
人口	18,634	18,176	17,845	17,338	16,898	16,452	16,024
人口増減に対する社会増減が占める割合	49.4%	49.3%	43.8%	49.9%	50.1%	62.7%	51.2%
前年比増減	△ 462	△ 458	△ 331	△ 503	△ 445	△ 446	△ 428
社会増減	△ 228	△ 226	△ 145	△ 251	△ 223	△ 211	△ 141
転入計	282	306	328	287	267	285	317
国内転入者数	263	276	298	250	247	280	266
国外転入者数	19	30	30	37	20	5	51
転出計	510	532	473	538	490	496	458
国内転出者数	486	516	445	509	468	466	429
国外転出者数	24	16	28	29	22	30	29
自然増減	△ 233	△ 223	△ 171	△ 246	△ 224	△ 233	△ 283
出生者数	94	85	103	73	61	53	65
死亡者数	327	308	274	319	285	286	348
その他増減 ※	△ 1	△ 9	△ 15	△ 6	2	△ 2	△ 4
その他増	14	6	5	6	5	2	3
その他減	15	15	20	12	3	4	7

※ 外国人登録や転出取り消し、職権による消除など